

「新しい戦前」と正面からたたかおう

国賠同盟第35回県本部大会開催

第35回同盟県本部大会が8月17日和歌山市内で代議員24名、評議員7名参加のもとで開かれました。会議の冒頭、23年8月から24年7月に死去された会員の方10名に黙とうを捧げました。

議長に稲田維実代議員（海南・海草支部）、松尾美男代議員（那賀支部）を選任し、鶴田至弘県本部会長の開会挨拶に続き、来賓の日本共産党の衆議院1区予定候補井本ゆういち氏と奥村規子県議より挨拶があり、同盟中央本部ほかのメッセージが披露されました。

会議では、鶴田至弘会長より前年度の運動総括案と新年度の運動方針案が提起され、とりわけその中で極めて厳しくなった日本の軍

国化と正面からたたかおうと強調しました。

南條佳弘県本部事務局長より23年度決算および24年度予算案の提案が行われ、続いて神谷治良会計監査委員より23年度会計監査報告が行われました。それらに基づき8名から積極的な討論が行われました。

討論ののち、報告、提案された諸議案は、すべて満場一致で承認・決定されました。

新役員には、理事31名、会計監査委員2名が選任されました。大会休憩時に開催された第1回理事会で、会長以下常任委員会を構成する三役、常任理事が選出されました。（2頁参照）

大会代議員の発言より

憲法9条改悪反対のスタンディングなどは粘り強く行われているが、「国賠」の知名度はまだまだ低い。中国には国家反逆罪というのがありますが、治安維持法も同質のものだという宣伝も必要ではないか。

（発言集は3頁へつづく）

国賠署名がある限られた範囲からなかなか突破できない。学校給食や医療費無料化の署名などは実行委員会の力もあって全戸訪問して訴えられるが、国賠署名はどうしても簡単には署名してもらえない。マインバーと健保のひもづけなどもけしからん話で、ここらと国賠署名が一緒にならないかと思っ

署名をさらに広げるために

西牟婁支部 塚田 哲朗



和歌山県版

No.397

2024.9.15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
和歌山県本部

☎ 640-8343

和歌山市吉田102

国会会館2階

☎ FAX : 073 (422) 7076

フェイスブック

治安維持法犠牲者国家
賠償要求同盟和歌
山県本部

Q 検索

email:chian_gisei
sya@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。

大会代(評)議員の発言より

署名目標達成！署名運動
参加者をさらに増やして前進

那賀支部 高瀬賢司

今期は署名目標600に対してそれをオーバーした。署名運動では一人で200筆を集めるスパー会員もいるが、運動への参加者は40軒にとどまっている。参加者の拡大のためしんぶん赤旗日曜版へ参加協力を訴えるピラを入れた。結果27名の方から75筆の回答をもらった。この方々に入会のお誘い文書を送り、面談できた一人の方が快く入会してくれた。ほかの方には文書だけで面談できていないのでうまくいっていないが、成功例を今後の教訓に生かしたい。

各種民主運動に会員はみんな頑張っているが、もっと国賠の宣伝を強めなければならぬし、学習活動も色々工夫したいと考えている。

優れた支部の経験を全県の支部へ

県本部 松下 義和

各支部の優れた経験が載った支部ニュースなどを全県へ伝える方

法はないか。ネットの利用とか支部ニュースの増刷配布なども考えていただきたい。

署名目標達成！

「不屈ツアー」も計画中

橋本 伊都支部 細川豊三郎

橋本 伊都支部も久しぶりに800筆の目標を51筆オーバーして達成した。役員の頑張りや協力してくれた労働組合の頑張りが大きい。

また、協力お願いのピラなどをしんぶん赤旗に折り込んでもらったところ、29人から署名が返ってきた。返事をもらった方々に入会を訴えたいと訪問を計画中です。

支部ニュースを発行しはじめたがなかなか原稿が集まらない。とりあえず年2回ということを進めていくことにしている。

パスツアーも検討中である。行く先は平和宣言をしている奈良市のコスモス寺の名で知られる般若寺と小林多喜二が訪問したといわれる奈良公園内の志賀直哉邸訪問、また中国で反戦運動をしたといわれるエスペランティストである方の話を聞くなどを内容としている。橋

本・伊都支部だけでは無理なので那賀支部と共催を検討中です。全県のご協力もお願いします。

地域の活動家の

歴史を支部版に

日高支部 滝川 公一

日高御坊地区の同時代の活動家の歴史を収集してその学びを支部ニュースにしている。すでに数名の方々をインタビューして掲載した。その方々のうち最近お亡くなりになったりして、貴重な記録になったと思っている。亡くなられた中家 和子さんは70歳台後半で資本論を紐解いたと語られていて感動した。

次は、民主村政を目指した伝統のある旧龍神村の活動を採取したいと思いで準備中である。今後ともこんな内容で支部版を続けてゆきたい。

予算案への要望を

日高支部 寺田 伸生

要望、予算案で事務所の光熱費が減額されているが、異常気候の中で冷暖房に費用をケチらないで健康に留意してください。

大会代議員の発言より

民主運動の底上げを

(紀南支部) 金田 真

新宮・東牟婁で会員数が極端に少い。民主勢力の力が盛り上がっていない。活動家の中でも革新懇も知らない人もいる。ましてや、治安維持法同盟など。頑張らんとあかんと思う。しかし、申本を中心に平和運動はどこにも負けないぐらい頑張っているところだと思

す。51回にも及ぶ請願が廃案になったとして、署名の中身や形式の検討の呼びかけがあったが、今のままでとにかく根気よく続けることが大切だ。紹介議員になつてくれなかった議員にもその結果を知らしてはどうでしょうか。和歌山市内3支部が一つになつての隔月発行の支部ニュースがほぼ定着してきている。会員の日常が主な記事だが、意外に多くの方が読んでくれていま

審議未了廃案にめげずに

和歌山東支部 坂口美香

㊦㊧㊨㊩㊪

和歌山の社会運動史

日本を揺るがした米騒動

(1918年大正7年)

和歌山県のばあい

令和の米騒動になりかねない(?) コメ不足、新米の収穫でなんだか落ち着いてきたように思えるが、5月ごろの値段から50%値上がりしている。米一揆でも起こしたい気分で、大正を振り返ります。

1918年のコメ不足の原因は一般物価の値上がりと、小作制度の矛盾、農村から都市への人口流入、気象の不順等々。(和歌山の場合、前年の収穫70万7千石が57万8千石と大減作)。これを見込んで悪徳商人の投機買、そして決定的になったのが8月からのシベリア出兵(日本はロシアの社会主義革命を潰すため軍隊7万2千名を8年間の長きにわたり派兵した。日本兵の死傷者1万人超と大雑把にしか分かっていない。なんの「見返り」もなくあえなく撤兵)。

その時の米価、和歌山市で大正6年3月、上等米1升15銭5厘、翌年3月

には26銭、6月には40銭、8月には50銭。ものすごい高騰ぶりだった。

『大阪朝日新聞』8月3日付には「1円に2升という未曾有の米価高騰に安月給取の窮迫甚だしく、ほかに職を求めるもの頻々、なかんずくその影響大なるは警察署にて、妻子を持つ巡査は病気欠勤を出して他に職を求めるべくアクセク」として、たとえば和歌山署では8月1日に出勤した外勤巡査はわずか14人だけで、欠員が15人、病気欠勤が10人もいると報じている。

米騒動が富山県から始まったのは有名であるが、8月に入って新聞がこれを報じると8月10日京都、大阪、名古屋と伝搬、地方小都市にも波及し始めた。

和歌山にも火がついてきた。8月3日西牟婁郡串本町が最初の役場への陳情であるが、すでに労働争議として伊都郡高野町(大工)、西牟婁郡田辺町(石工)、東牟婁郡勝浦町(沖仲仕)、同新宮町(製材)などでストライキを含む争議が起こっていた。

そういうことも背景に地域的な「大騒動」が県下に発生してゆく。(以下市町村の動きは次稿で) (Y.T.)